2026 年 7 月 21 日

各　位

会 社 名　北 興 化 学 工 業 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　　佐野　健一
（コード番号　4992　東証スタンダード）
問い合わせ先　常務執行役員　榎本　浩巳
（TEL 03-3279-5151）

当社岡山工場からのベンゼン等を含む排水の流出について（第 1 報）

当社岡山工場前の吉浦海岸岸壁基礎付近において、ベンゼン等を含む排水が当社岡山工場から流出していることが判明しました。

近隣地域・住民の皆様、漁業関係者、行政機関その他関係者の皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

当社は今回の事態を重く受け止め、岡山県、玉野市などの行政機関からのご指示・ご指導の下、原因究明を急ぐとともに再発防止に努めてまいります。

１．発生日時

2026 年 7 月 14 日　16 時 15 分頃

２．発生場所

（１）発生が確認された工場

北興化学工業株式会社　岡山工場　合成第 6 工場および合成第 7 工場

（住所）岡山県玉野市胸上 402 番地

なお、岡山工場内のその他の工場についても調査中です。

（２）流出が確認された場所

吉浦海岸岸壁基礎付近

（住所）岡山県玉野市胸上 328 番地

なお、同所には現在、同所への立入りを禁止する旨の看板が、行政機関により設置されています。

３．流出の状況

（１）判明の経緯

2026 年 7 月 14 日 16 時 15 分頃、玉野市より、当社岡山工場前の吉浦海岸岸壁基礎付近から液体が流出しているとの通報があった旨の連絡があり、調査の結果、7 月 17 日 22 時頃、当社が取り扱う化学物質が含まれている排水が流出していることを確認しました。

（２）流出した排水に含まれる化学物質及び流出量

ベンゼン、トルエン、キシレンなどの有機化合物。

流出量や濃度については現在調査中です。

４．流出の原因

流出の原因については現在も調査・究明中ですが、工場の排水ピットの樹脂コーティング部分に亀裂があり、当該亀裂から排水が流出したものと考えられます。

なお、当社はただちに、検出された化学物質を主に取り扱う合成第６工場および合成第７工場の運転を停止し、それぞれの排水ピットの廃液を抜き取りました。現在、工場内の全ての排水ピットの使用を中止しています。

５．業績に与える影響

本件に伴う当社連結業績に与える影響につきましては、判明次第、速やかにお知らせいたします。

以上

（本件に関する問い合わせ先）

本社企画部企画チーム広報担当　TEL：03（3279）5151

岡山工場事務チーム　TEL：0863（41）1515